

《令和2年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果について》

①実施日 令和2年6月24日

②実施学年 4～6年 個人の伸びを追跡し、児童一人一人の学力を確実に伸ばしていくことがこの調査の大きな目的です。中学入学後も3年間継続して行われます。

③実施教科 国語・算数

④調査の結果については下記のとおり（％は平均正答率を表しています）

学年	4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
埼玉県	64.3%	64.2%	62.1%	61.7%	58.8%	59.0%
狭山市	63.2%	61.3%	61.4%	60.2%	57.3%	56.5%
本校	67.8%	62.8%	65.4%	66.2%	59.2%	56.8%
県平均との差（2年）	+3.5%	-1.4%	+3.3%	+4.5%	+0.4%	-2.2%
県平均との差（元年）	—	—	+2.2%	+2.2%	-1.0%	-2.1%
1年間の変化	—	—	+1.5%↑	+2.3%↑	+1.4%↑	-0.1%↓
学力のレベル	1～12の段階に分け、それぞれのレベルを更にA、B、Cに3分割して表す。 最上層は12-A。小4は1～7、小5は2～8、小6は3～9の範囲の中で表される。					
2年度（県）	6-B	5-B	6-A	6-C	7-B	6-A
2年度（本校）	6-A	5-C	7-C	6-B	7-A	6-A
元年度（本校）	—	—	6-C	6-C	6-C	6-B
1年間の伸び	—	—	3	1	5	1

本校の今年度の学力のレベルは、昨年度と比較からも順調に伸びていることがわかります。そのレベルは県の学力レベルとほぼ同等かそれ以上になっています。また、狭山市の平均と比較しても、全学年で平均値を上回ることがわかります。

今年度は、コロナの影響により、3月初旬から5月下旬までの3か月間が休校となり、学校での学習指導ができませんでした。その間、各家庭で計画的に学習を行えるように、学習計画の作成、学習プリントの作成、動画配信など、家庭学習のサポートをしていきました。保護者の皆様のご協力もあり、家庭学習を一生懸命に取り組んでいただいた結果が、このように、狭山市内でも高い水準の結果を導き出したと考えられます。

昨年度から今年度にかけて、学校での学習指導では、まとめやふりかえりを自分の言葉で書くことを通して、記述力の向上を図っていくこと、1時間の流れがよくわかる板書の作成、ユニバーサルデザインの視点に立った、誰もがわかった、できたと感じられる授業づくりに力を入れています。さらに、ICTの活用を通して、学びに向かう意識を高めたり、より深い理解を促していくことにも力を入れています。

これから、狭山市は、児童1人1台のPCを導入し、学校でのICT活用、家庭でのICT活用をより積極的に進めていくことになっております。今回の力学習状況調査でも、家庭学習の有用性が非常に高いことが伺えます。各ご家庭におかれましては、引き続き、学習の時間をしっかりと確保するなど家庭学習の習慣化を図り、日々の学習の確実な定着と発展的な内容への取組を大切にしてください。